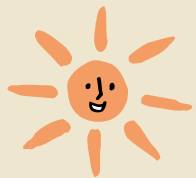




琉球銀行グループ  
BANK OF THE RYUKYUS GROUP



SDGs



琉球銀行グループ  
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

琉球銀行グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

# りゅうぎんグループSDGs宣言の策定について

琉球銀行グループは、国連の提唱する「SDGs」（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、地域の皆さまとともに持続可能な社会を実現するために、「りゅうぎんグループSDGs宣言」を策定しました。

琉球銀行は、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を経営理念とし、これまでも本業である金融業や各種の地域貢献活動等を通じて、地域の経済・社会・環境の維持・発展に取り組んでまいりました。

地方銀行を取り巻く環境が厳しさを増す中、今まで取り組んできた地域との共生を更に推進し、SDGsの達成に貢献することが、琉球銀行の経営理念の実現に資するものと考え、今般の宣言策定に至りました。

琉球銀行グループは、今後も役職員一同、地域の持続可能性確保のための活動を継続してまいります。

## りゅうぎんグループSDGs宣言

### 01 金融グループとしての責任

りゅうぎんグループは、グループ連携を通じて円滑に金融仲介機能を発揮するとともに、顧客本位のビジネスモデルを構築・実現し、地域経済の持続的な発展に貢献します。

### 02 地域社会の持続可能性の確保

りゅうぎんグループは、性別、国籍、障がいの有無、経済的な格差等による不平等をなくし、持続可能な地域社会を実現するため、地域社会の課題解決に向けた施策を継続的に実施します。

### 03 地球環境保護への貢献

りゅうぎんグループは、地域の持続可能性確保の前提として地球環境の保護が重要との認識のもと、地球温暖化の抑止や自然環境・生態系保護のための活動を積極的に行います。



## SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」のことで、2015年9月に国連加盟国で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載の2030年までの国際目標です。「誰も置き去りにしない」という理念を掲げ、貧困・教育・環境などに係る17のゴールと169のターゲットから構成されています。

# りゅうぎんグループの重点的な取り組み

りゅうぎんグループは、地域の持続可能性確保のため、以下の項目に重点的に取り組んでまいります。

## 01 地域経済活性化への取り組み

### ◆新産業の創出

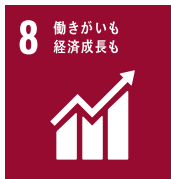
創業・新事業開拓支援、ファンドによる支援  
キャッシュレス化の推進

### ◆地域への還元

りゅうぎん地方創生応援私募債  
地域貢献型カード (OCS)

### ◆文化振興

りゅうぎん紅型デザインコンテスト  
りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業



## 02 地域社会および職場における平等の確保

### ◆貧困対策

りゅうぎんユイマール助成会  
子ども居場所づくりイベント事業助成金

### ◆教育支援

りゅうぎんキッズスクール  
りゅうぎん海外留学支援事業  
大学での寄付講座 (琉球大学・沖縄国際大学)

### ◆障がい者支援

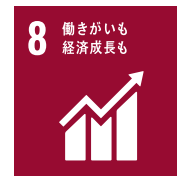
ナイスハートバザール、海あしびなーSUNフェスタ

### ◆女性活躍推進

企業主導型保育園 (にじいろたまご保育園)  
管理職への女性の積極登用

### ◆健康経営

NAHAMARASON特別協賛、MO!SWANデー



## 03 地球環境保護のための具体的な行動

### ◆二酸化炭素(CO2)の排出抑制

カーボンオフセット実施、ペーパーレス化推進

### ◆省エネへの取り組み

本部支店における「Nearly ZEB」認定取得

### ◆自然環境・生態系保護

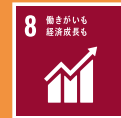
「国場川水あしび」へのボランティア派遣  
「沖縄県植樹祭」へのボランティア派遣

### ◆環境意識向上に係る周知・啓蒙

那覇市「環境絵日記」「4R推進ポスター・標語」コンクール協賛



# 01 地域経済活性化への取り組み



💡 地域およびお客様の課題解決に繋がるビジネスモデルの実現により、地元企業の事業継続や技術革新による新産業の創出に取り組み、地域経済の活性化に貢献します。

💡 地域の文化振興や産品販促を図るため、伝統的な技術の継承支援や観光業の持続的発展に資する事業に取り組みます。

## 新産業の創出



OKINAWA STARTUP PROGRAM 2018-2019 DEMO DAY



地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』表彰式



座間味村観光協会とのカード加盟店サービス提携発表会

沖縄タイムスや県内外の起業家支援機関と連携し、沖縄から革新的で競争力のあるベンチャー企業（スタートアップ）の創出・育成プログラム「OKINAWA STARTUP PROGRAM」を実施しています。本プログラムの参加企業（チーム）には、琉球銀行および県内外の起業家支援機関によるビジネスプランの熟成のメンタリング等を行い、事業化が見込まれる優れたプランに関しては、BORベンチャーファンドからの出資やパートナー企業とのマッチング等のサポートを実施しています。

また、個人向けのりゅうぎんVisaデビットカードの発行枚数は12万枚を突破し（2019年9月末）、2017年1月より取り扱いを開始しているカード加盟店サービスにおいても、座間味村観光協会を皮切りに石垣島・宮古島・久米島の各島の商工会議所、観光協会と加盟店開拓業務の提携を開始する等、キャッシュレス化の推進・サービス提供に努めています。

これら「キャッシュレスアイランド」への実現に向けた取り組みは、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から2018年度の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されました。

## 地域への還元

「りゅうぎん地方創生応援私募債」の取り扱いを開始しました。「りゅうぎん地方創生応援私募債」とは、私募債を発行する際に、琉球銀行が発行企業から受け取る手数料の一部を、発行企業と琉球銀行で協議の上、沖縄県の学校、教育文化施設、または伝統文化、環境保全、観光推進等の地域貢献、地方創生を目的に設立された団体へ寄付する仕組みです。

また株式会社OCSでは地域貢献型カードを発行し、売上金の一部を協力金として毎年寄付をしています。「トライアスロンカード」は宮古島トライアスロン実行委員会と提携し、これまで運営資金として約1,200万円の寄付を行いました。「やいまカード」は一般社団法人八重山ビジターズビューローと提携し、観光産業の振興を目的として、これまで約1,100万円の寄付を行いました。



「りゅうぎん地方創生応援私募債」寄付金贈呈式



全日本トライアスロン宮古島大会表彰式



やいまカード寄付金贈呈式

## 文化振興

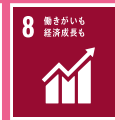
沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物等に幅広く活用されています。

また、創立70周年記念事業の一環として、株式会社沖縄タイムス社との共催で、「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を開始しました。これは琉球漆芸における若手従事者の確保と技術の伝承、従事者が生計を立てられる収入を得られることを目的とするものです。



第28回りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

## 02 地域社会および 職場における平等の確保



- 💡 地域社会における経済的格差や障がいの有無、国籍等による不平等をなくし、全ての人に機会の平等を確保する取り組みを行います。
- 💡 職場におけるジェンダー平等や多様性の尊重を確保し、職員の健康にも配慮した生産性が高く働きがいのある職場を実現します。

### 貧困対策

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、更に同額を銀行が寄付することで基金を造成します。「りゅうぎんユイマール助成会」では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は1,037件、2億671万円となりました（2019年9月30日現在）。

2018年度に開始した「子ども居場所づくりイベント事業助成金」は、沖縄県内において子どもの居場所づくり等を実施している団体等で、沖縄県内の子どもたちを対象に誕生会、クリスマス会、もちつき大会等、子どもたちが中心となり実施するイベントに対する助成事業です。2018年度は45団体に対し、133万円の助成金を贈呈しました。



りゅうぎんユイマール助成金贈呈式



子ども居場所づくり  
イベント事業助成金贈呈式

### 教育支援

毎年夏休み期間中に小学5・6年生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。17回目となる2019年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を学習する経済教室や、コンピューターに触れて興味を持ってもらうことを目的とした「プログラミング教室」を開催しました。

創立70周年記念事業として「りゅうぎん海外留学支援事業」を2018年3月から開始しており、返還義務のない奨学金を提供することで、経済的な理由で留学が困難な学生を支援し、人材育成を通して社会の発展に寄与することを目指しています。

琉球銀行では、りゅうぎん総合研究所と共同で、琉球大学および沖縄国際大学において、毎年寄付講座を開講しています。各分野の担当者が講義を行い、県内学生の金融・経済に関する知識・理解の向上に努めています。



りゅうぎんキッズスクール



りゅうぎん海外留学支援事業

## 障がい者支援

授産施設や小規模福祉作業所等の製品即売会「ナイスハートバザールイン沖縄」には協賛金を提供するほか、琉球銀行の職員がボランティアスタッフとして参加し全面的な支援を継続して行っています。

琉球銀行グループ・友好会社7社では、共生社会の拠点づくりを目的に開催された「海あしびな-SUNフェスタ」へ特別協賛しています。本イベントは、全ての人々が障がいの有無に関わらず、地域において豊かな生活を送ることができる共生社会の実現に向けた取り組みとして2017年より開催されています。



海あしびな-SUNフェスタ2019

## 女性活躍推進

2019年4月1日(月)に、企業主導型保育園「にじいろたまご保育園」を開園しました。「にじいろたまご保育園」は、りゅうぎん健保会館(那覇市壺川1-1-9)の空きスペースを株式会社人材派遣センターオキナワへ賃貸し、同社が保育園を設置・運営しています。特に待機児童の多い0歳児から2歳児までを保育の対象とし、職員の福利厚生向上や、女性職員のキャリアアップの解消を支援します。琉球銀行は、子育て等ライフイベントを迎えた職員のキャリア形成を積極的に支援し、次世代育成や女性活躍推進に積極的に取り組んでまいります。



にじいろたまご保育園

## 健康経営

琉球銀行は、職員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、これからも組織として職員の健康管理・健康保持に積極的に取り組むため「健康経営宣言」を策定しました。これに基づき卒煙サポート(「MO!SWANデー」の導入)や役員へのウェアラブルデバイスの貸与等を実施しております。

また、琉球銀行は沖縄を代表するイベントである「NAHAMARASON」に特別協賛し、参加ランナーの方々の健康を支援しています。



MO!SWANデー ロゴ



第34回NAHAMARASON

# 03 地球環境保護のための具体的な行動



- 💡 気候変動への対策として二酸化炭素の排出抑制等に向けた施策を実施し、地球温暖化の抑止に貢献します。
- 💡 地域の豊かな自然環境・生態系を保護し、観光資源の保全や生物多様性の維持に取り組みます。

## 二酸化炭素 (CO2) の排出抑制

琉球銀行が協賛している「ナイスハートバザールイン沖縄」においては、同イベントで排出されるCO2排出量を国内クレジット先より買い取るカーボンオフセットを実施しています。このカーボンオフセットの実施により、沖縄の環境保護活動を行う団体への寄付が行われています。

また、会議等の資料を紙の印刷物ではなく、タブレット端末での閲覧やプロジェクターでの投影で代替し、電子稟議等も導入することでペーパーレス化を推進しています。



第34回ナイスハートバザールイン沖縄

## 省エネへの取り組み

2019年3月25日(月)に新店舗へ移転した本部支店が、国土交通省公示に基づく第三者機関より「Nearly ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)」の認定を受けました。ZEBとは、ゼロエネルギーに向けた達成度に応じて3段階に区分されており、年間エネルギー収支を100%以上削減したものを「ZEB」、75%以上を「Nearly ZEB」、50%以上を「ZEB Ready」と定義しています。今回の「Nearly ZEB」の認定は県内初となり、本部支店は光熱費のランニングコストを大幅に抑えた建物を実現しました。



琉球銀行 本部支店



## 自然環境・生態系保護

国場川水系の各河川は水鳥が多く飛来し、特にその河口の漫湖は、ラムサール条約に登録された国際的にみても重要な湿地帯です。残された貴重な自然や水辺を守り、環境保全活動への理解を深めるために、琉球銀行から「国場川水あしび」にボランティアを派遣し清掃活動を実施しています。

また、一人ひとりが緑化の重要性を認識し、「一島一森(いちしまいちむい)づくり」に積極的に取り組むという趣旨に賛同し、沖縄県・沖縄県緑化推進委員会・豊見城市主催の「沖縄県植樹祭」にボランティアを派遣し、緑化運動に貢献しています。



第70回沖縄県植樹祭



第24回国場川水あしび

## 環境意識向上に係る周知・啓蒙

琉球銀行は、那覇市主催の「環境絵日記」「4R推進ポスター・標語」コンクールに、企業賞への協賛として協力しています。小学生や中学生が環境問題について考えることを目的に開催されるイベントへ協力することで、未来を担う子どもたちの環境意識の向上に貢献しています。



那覇市「環境絵日記・4R推進」コンクール表彰式



# 私たちのSDGs宣言

りゅうぎんグループは、グループ一体となって持続可能な社会の実現に貢献するため、グループ各社それぞれの役職員が、具体的なアクションを起こしています。

## 1 貧困をなくそう



りゅうぎん  
ユイマール助成会

琉球銀行  
総合企画部地域貢献室 宮城 智子

「りゅうぎんユイマール助成会」を通じて、地域の皆さまとともに経済的貧困など家庭内に課題を抱える子どもたちの支援を目的に、「子ども居場所づくり事業」に取り組んでいきます。

## 4 質の高い教育をみんなに



寄付講座

りゅうぎん総合研究所  
調査研究部 上原 優奈

これから社会に出て活躍する学生の皆さまに、金融や沖縄経済に関する知識を深めて頂き、将来沖縄を支える人材の育成に貢献してまいります。

## 12 つくる責任、つかう責任



ペーパーレス化推進

琉球リース  
企画総務部企画総務課 山本 世奈

電子稟議システムの拡充や文書の電子保存によりペーパーレス化を推進し、限りある資源を大切にします。

## 17 パートナーシップで目標を達成しよう



地域貢献型カード

OCS  
営業統括部営業統括課 又吉 洋介

地域の団体等と協力・連携して、地域貢献型カードの普及を促進することで、地域経済の発展に貢献していきたいと考えています。